

令和8年度
5歳児健康診査にかかる研修会

福岡県医師会

令和8年度5歳児健康診査にかかる研修会

△開催日時：令和8年9月28日（月）19：00～20：30

△開催場所：①福岡県医師会館5階研修室1

（福岡市博多区博多駅南2-9-30）

②ZOOMミーティングによるWEB配信

1. 開 会

2. 挨拶

3. 講 演

（1）「5歳児健診のあり方に関する検討」

講師：福岡大学医学部小児科学教室 主任教授 永 光 信一郎

（2）「5歳児健診の福岡県の現状と今後の方向性」

講師：福岡県医師会 理事 古 野 憲 司

（3）「2段階方式による5歳児健康診査について」

講師：福岡市医師会 常任理事 石 崎 義 人

（4）「大刀洗町5歳児健康診査事業」

講師：大刀洗診療所 院長 橋 本 朋 也
大刀洗町健康課健康支援係 係長 藪 内 真 由

4. 情報交換

5. 閉 会

5歳児健診のあり方に関する検討

福岡大学医学部小児科
主任教授 永 光 信一郎

— M E M O —

— M E M O —

5歳児健診の福岡県の現状と今後の方向性

福岡県医師会

理事 古 野 憲 司

5歳児健康診査

福岡県の現状と今後の方向性

福岡県医師会
理事 古野憲司
(福岡赤十字病院 小児科)

5歳児健診の目的

幼児期において幼児の言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期であり、保健、医療、福祉による対応の有無が、その後の成長・発達に影響を及ぼす時期である5歳児に対して健康診査を行い、こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図ること。

(令和5年12月28日付こ成母発第375号 こども家庭庁成育局長通知 別添1)

健診項目

1. 身体発育状況
2. 栄養状態
3. 精神発達の状況
4. 言語障害
5. 育児上問題となる事項
(生活習慣の自立、社会性の発達、しつけ、食事、事故等)
6. その他の疾病及び異常の有無

5 歳児健診の福岡県の現状

県内の実施状況 — 令和 8 年 7 月の県公表資料

年度	実施市町村数	60市町村に占める割合
R6（2024）	3市町	5.0%
R7（2025）	11市町	18.3%
R8（2026）	27市町	45.0%

45.0%

R8年度の県公表値
全域展開まで33市町村

年度途中の新規開始

大牟田市：R8年 4 月開始 筑後市：9 月開始
久留米市：10月 1 日開始予定（市広報 9 月号）

注：市町村の実施割合であり、こどもの受診率ではない。R8の開始済み・予定の内訳は県資料に記載なし。
出典：福岡県・県議会「提言・要望書」R8年 7 月 p.45、各市公式発表。

03

県全体の準備を支える取組と課題

県は「5 歳児健康診査実施促進事業」で、課題の協議と健診医の拡充を推進

県の事業	内容（R8事業概要）	残る課題
①会議	課題と現状の情報交換 課題解決に向けた方策の検討 医師確保が困難な市町村への対応	市町村内だけでは 健診を担う医師の確保が困難
②研修会	診査内容や、発達障がい等の 評価の視点について研修し 健診に従事可能な医師を拡充	健診後の相談・発達支援と 医療・教育への接続が必要
国への要望	派遣体制整備の強化と 十分な財政支援を要望	県試算の人員費：1 万円／人 健診費の補助基準額：5 千円／人

R8年度当初予算：5 歳児健康診査実施促進に係る経費 269.6万円

注：研修の対象は医師に加え、各医師会母子保健担当理事、市町村・保健福祉（環境）事務所の担当者等。1 万円は県のモデル試算。
出典：県「5 歳児健康診査実施促進事業」概要、R8当初予算編成概要 p.61、R8年 7 月要望書 p.45、県政策事前評価書 p.520

04

国の支援制度と地域に応じた実施方式

全対象児を支える体制を、市町村と地域の医師会等が協議して整える

実施方式	国の整理と実施上の条件
集団健診（原則）	医師の参加と多職種の連携で実施。 必要な健診内容と事後支援を満たす個別健診も補助対象。
園医方式・巡回方式	園での観察や既存の健診機会を活用。 未就園児・欠席児にも、別の受診機会を確保する。
二段階方式	全対象児の聞き取り・質問票等をもとに、医師の関与の下で抽出。 必要な児を医師が診察し、医師会等と方法・基準を定期的に検証。 園等で判断できない未就園児等は、医師による健診の対象とする。

健診費：基準額 5,000円／人、国1/2・市町村1/2

別枠で、県・市町村の医師等派遣費や研修・体制整備も支援

注：補助対象は実施年度に満5歳となる幼児。標準時期は4歳6か月～5歳6か月。二段階とも原則同一年度を実施。

出典：こども家庭庁 R8年7月29日Q&A 問2・7・11・13～24、健診支援／実施支援事業（R8年4月公表）

05

令和10年度までの目標と実施体制

県はR9年度に全60市町村、国はR10年度の全国展開を目標に掲げる

県の指標	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）
実施市町村数の目標	36市町村	60市町村	60市町村
県公表の実施数	27市町（R8年7月）	—	—

全域展開に向けた役割

担い手	国通知・県事業計画に基づく役割の整理
県・保健福祉（環境）事務所	地域の課題・資源を把握し、広域調整と市町村支援
医師会・医療機関	健診医の養成・確保、実施方式の協議、精査・診療との連携
市町村・園・福祉・教育	全対象児への案内、未受診者対応、支援と就学時の引継ぎ

注：県の目標はR6年度政策事前評価書（R7年度開始事業）による。27は年度途中の公表値であり、年度末の達否を示さない。

出典：県政策事前評価書 p.520、R8年7月要望書 p.45、国R8予算案EBPM資料・フォローアップ体制通知

06

まとめ

1. **目的** こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援につなぐ（母子保健法第13条に基づく健診）。
2. **県内の現状** 実施市町村は3（R6）→ 11（R7）→ 27（R8）と拡大。R8年度は60市町村の45.0%。
3. **県の取組** 実施促進事業で課題解決の協議と健診医を確保する研修を実施。R9年度に全60市町村が目標。
4. **実施方式** 集団健診が原則。園医・巡回・二段階方式も可能。二段階方式は地域の医師会等との定期協議が前提。
5. **連携** 市町村（実施主体）、県の子育て支援課（広域調整・市町村支援）、郡市医師会（健診医の確保・実施方式の協議）が役割を分担し、健診後の支援と就学への接続まで整える

07

2段階方式による5歳児健康診査について

福岡市医師会

常任理事 石 崎 義 人

「二段階方式による5歳児健診について」



いしざき小児科クリニック
石崎義人

福岡市 人口 1,555,939人 (2025年9月30日時点)
15歳未満 199,536人 (12.8%)

福岡市の出生の状況 (R7年度 母子保健事業実績報告より)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	(人)
全市	14,543	13,945	13,635	13,068	12,919	12,339	11,896	11,776	11,948	
東	3,071	2,861	2,801	2,792	2775	2617	2,588	2,540	2,570	
博多	2,470	2,440	2,398	2,298	2271	2097	2,071	2,148	2,264	
中央	1,670	1,591	1,648	1,609	1558	1541	1,358	1,431	1,329	
南	2,412	2,370	2,302	2,174	2180	2097	2,040	1,951	1,934	
城南	1,030	986	923	867	915	853	793	788	812	
早良	1,936	1,822	1,786	1,636	1581	1575	1,534	1,468	1,570	
西	1,954	1,875	1,777	1,692	1639	1559	1,512	1,450	1,469	

今年度の5歳児健診対象者数

福岡地区小児科医会（丹々会）会員数 2026年3月31日現在

福岡市 102名（東21、博多12、中央10、南17、城南11、早良14、西17）
筑紫 29名、粕屋 16名、糸島 7名

丹々会役員 会長、副会長、理事、監事
各支部組織 会長、庶務・会計

会長諮問委員会
乳幼児保健委員会
情報・企画委員会
学術・会報編集委員会
小児の医療を考える会

複数の基幹病院 大学病院 x2、こども病院、国立病院機構 x2
福岡赤十字病院、浜の町病院 など

更新日: 2026年07月14日

乳幼児健康診査(乳幼児健診)

目次

- 1か月児健康診査
- 4か月児健康診査
- 10か月児健康診査

福岡市医師会登録医療機関での個別健診

- 1歳6か月児健康診査
- 3歳児健康診査

各区保健福祉センターでの集団健診
各区で出務枠調整

- 5歳児健康診査
- 希望者に有料で実施するもの
- お問い合わせ先

福岡市HPより

5歳児健診モデル事業までの準備

- 小児科医会と行政との打ち合わせ
令和7年度のモデル事業は乳幼児保健委員会委員が担当
- 行政による専門職の雇用
福岡市こども未来局こども健やか部こども健やか課主査
相談体制等強化担当職員
- 療育センターの計画的な整備
西部療育センター 平成14年
東部療育センター 平成23年
南部療育センター 令和7年

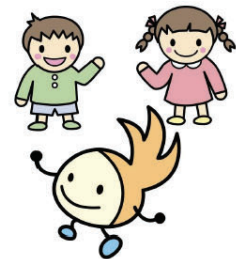
5歳児健康診査モデル事業（令和7年度）

【対象】 R7年度中に5歳の誕生日を迎える児(R2.4.2～R3.4.1生)
のうち希望者。(発達に心配がある等)
※療育センター等でサポートを受けていない児

【回数】 全12回(R7.6.26～R8.3.3)
※500人程度を予定

【場所】 3区(中央区、早良区、東区)で実施
※募集対象は全区

【出務医師】 24枠中16枠を丹々会から、8枠は大学・福岡市立こども病院



5歳児健康診査モデル事業（令和7年度）

【内容】

	①事前 カンファレンス	②集団遊び 観察	③問診 ④計測	⑤診察・判定	⑥保健指導	⑦健診後 カンファレンス
内 容	○これまでの経過 ・健診情報 ・支援状況 ○園等の利用有無	○集団遊びの様子 を観察 (児の発達、親子関 係等を確認)	○発達状況、保護 者の困り感等確認 ○育児不安や支援 ニーズの把握	○発育確認 ○健康状態の把握 ○医学的判断	○個別指導および 集団指導実施 ○心理相談等への つなぎ	○保健師等健診 従事者で、結果に 基づき、支援の必 要性や支援方法を 協議

【受診者数】 436人

東	博多	中央	南	城南	早良	西
113人	41人	54人	54人	34人	97人	43人

【結果】 療育センターへの紹介が全受診者の約3割程度。
その他、弱視や低身長などで医療機関の紹介等あり。
保護者への支援として保健師につないだ家庭もあり。

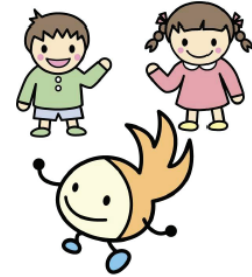
令和7年度モデル事業での課題

- 集団遊びは児の様子を把握するには有用
評価を担当するスタッフの確保が必要
- 1回あたりの人数
集団遊びの観察、問診で時間を要する
医師2名体制で30名程度が妥当
- 健診後のフォロー
療育センターへの紹介を希望しない場合や
教育との連携が必要な場合への対応が必要

5歳児健康診査モデル事業（令和8年度）

- 【対象】 R8年度中に5歳の誕生日を迎える児(R3.4.2～R4.4.1生)
のうちセルフチェックを行い受診勧奨となった児
(療育センター等でサポートを受けていない児)
※全対象者に年3回に分けて案内を送付

- 【回数】 約70回（各区10回ずつの予定）
※2000人程度を予定
- 【場所】 全市（7区）で実施
※令和8年4月～令和9年2月



【出務医師】 140枠中80枠を丹々会から、60枠は大学・こども病院・健診協力医師

対象数の推計：5歳児健診の先行自治体で何らかの支援が必要な児の割合（約20%）
と受診率（約70%）から計算

福岡市5歳児健診説明会

日時：令和8年4月8日（水）19時00分～21時00分

場所：エルガーラホール 7階 中ホール（定員130名）

- ① 5歳児健診概要について
福岡市こども未来局こども健やか課
- ② 5歳児健診における診察について
講師：いしざき小児科クリニック 石崎 義人
- ③ 5歳児健診後の療育センターでの流れについて
講師：福岡市社会福祉事業団 福岡市立心身障がい福祉センター
(あいあいセンター) 小児科医師 相部 美由紀 先生

* 福岡市が作成した5歳児健診マニュアルを配布

(医師は可能なら)

福岡市マニュアル P13

1) ～5) の項目がスタッフにより
コメントとともに記入されている

クリニック宛の診療情報提供にも活用される

→ 内容を把握しておく必要がある

診察の前に

- 問診および視診（行動観察）は診察前に完了している
- 保健師から説明を受け健診カードの記載を確認
- 診察前に事後措置についておおよその見立てを保健師と共有しておく（事前打ち合わせ）
- 福岡市マニュアル P15

所見があり、既療育でない場合は、医師としての見立てとその意味を伝えて、解決の手立てを知るために療育センター等に相談するよう助言する。

5歳児健診における医師の役割とは

小学校に入学して学習できる状況かどうかの確認

身体発育および運動機能

視力について

聴力について

知的発達について

情緒・行動面について

準備ができていない場合に

入学前に療育での専門支援が必要か

家庭での対応で大丈夫そうか



多職種が共同して
判断する

「伝えるのは医師の役割」

5歳児健診セルフチェック

以下のことについてチェックしてみましょう

セルフチェックの項目にある内容について、心配な点などを、すでに医療機関や相談機関に相談をされている方は、5歳児集団健診の受診は必要ありません。

お子さんの健康状態や、子育てについてお聞きします

お子さんやあなたのことについて、はい・いいえのどちらかを選んで下さい。

1 保育園や幼稚園などで健診の機会がありますか	はい	いいえ
2 体格（肥満など）や身長のことなどで心配がありますか →母子健康手帳の身体発育曲線（予防接種の記録の前にあります）を記録してみましょう	いいえ	はい
3 姿勢や歩き方・走り方などの心配がありますか	いいえ	はい
4 はっきりした発音で話ができますか	はい	いいえ
5 しりとりができますか	はい	いいえ
6 生活や遊びの中で特定の物や動作にこだわりが強いと感じますか	いいえ	はい
7 じっとしてほしい時に落ち着いてられないことがありますか	いいえ	はい
8 気が散りやすく、注意・集中が難しいですか	いいえ	はい
9 順番を待つことができますか	はい	いいえ
10 集団で遊ぶことができますか	はい	いいえ
11 友達とトラブルになりやすいですか	いいえ	はい
12 あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか	いいえ	はい
13 子育てにおいて、「もう無理」「誰か助けて」と感じたことはありますか	いいえ	はい
14 感情的な言葉で怒鳴ったことがありますか	いいえ	はい
15 相談したいことはありますか お子さんの様子やからだのこと、子育てについて相談したい事はありますか。	いいえ	はい

○あり

受診勧奨

14

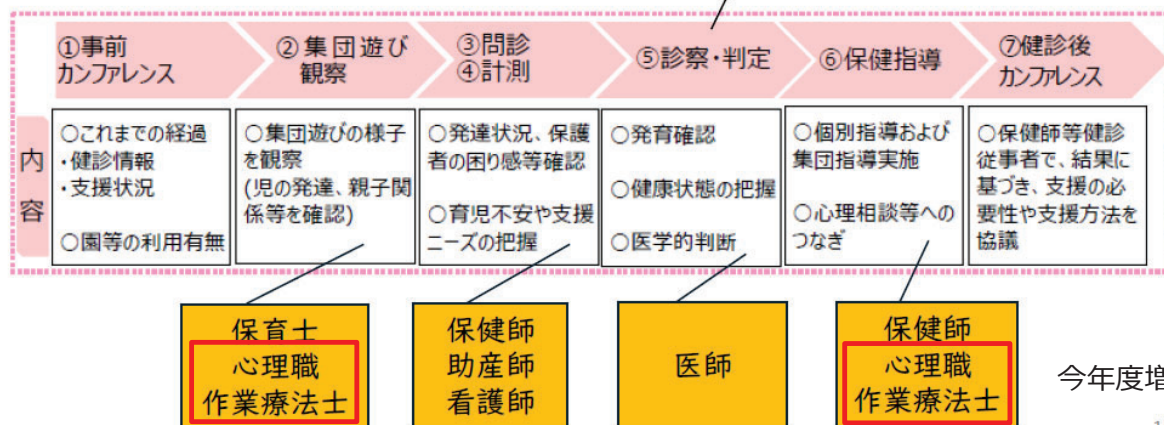
5歳児健康診査（令和8年度）

【内容】

必要に応じて

- ・療育センターや医療機関紹介
- ・所内個別相談案内
- ・総合相談会案内
- ・所属園やかかりつけ医への相談案内

などを実施



15

スタッフ人数と健診時間

スタッフ	人数	従事時間
保育士	1	13:00～健診終了まで
小児科医師	2	13:30～診察終了まで
心理士	1～2	13:00～健診終了まで
作業療法士	1	13:00～健診終了まで
保健師・助産師	6～7	13:00～健診終了まで
看護師	2（計測2名）	13:00～健診終了まで
事務等	2（受付）	13:00～健診終了まで

- 1回約30人を医師2名で診る。
- 1人約8分 診察前の多職種からの情報が重要。
- 医師は必要性を伝え療育へつなぐ役割

※出務時間・各スタッフの配置・人数は、各区の状況に応じる

5歳児健康診査モデル事業（令和8年度）

【令和8年度 城南区結果】※途中経過報告

	5月27日	6月17日	7月17日	8月25日
受診者数	19人	21人	26人	15人
療育センター紹介	1人	1人	5人	3人
医療機関紹介	1人	2人	0人	1人
所内個別相談	0人	2人	3人	1人
所属園への手紙	0人	0人	0人	0人
総合相談会予約	0人	0人	2人	0人

総合相談会

5歳児健診の結果、療育センター紹介とならなかった方で、児の発達や就学に不安がある方を対象
また、5歳児健診の受診機会がなかったが、発達や就学に不安がある年中児さんの相談も受付
心理士・保健師・作業療法士・教員の複数の専門職が、それぞれ個別に相談対応

令和8年度モデル事業の課題

- 通知は全家庭だが保護者がセルフチェックを理解し実施できるか
国のマニュアルでの問診項目 44 → 15
参加に否定的な家庭がある（3歳児健診受診率 97.5%）
- セルフチェックのみで終了し対面健診を受けなかった場合に
母子手帳に記録を残す方法
- 療育センター紹介への心理的・物理的障壁
総合相談会の案内 療育センターの場所や路線図の案内
- 小児科医の負担
→ 10月27日 5歳児健診検討会（福岡市役所）

まとめ

- 5歳児健診の実施には小児科医・自治体およびその他関係者の事前の準備と協力体制が必要である
- 福岡市では令和8年度、全5歳児に対して、保護者へ「アンケート（セルフチェック）のQRコードを郵送し、結果及び保護者の希望で2000人を対象に集団健診を行う二段階方式を試行している
- モデル事業での実施であり、引き続き実施方法について検討する

大刀洗町 5 歳児健康診査事業

大刀洗診療所	院長	橋	本	朋	也
大刀洗町健康課健康支援係	係長	藪	内	真	由

大刀洗町5歳児健康診査事業



大刀洗診療所 院長 橋本朋也

大刀洗町役場 健康課 健康支援係 藪内真由

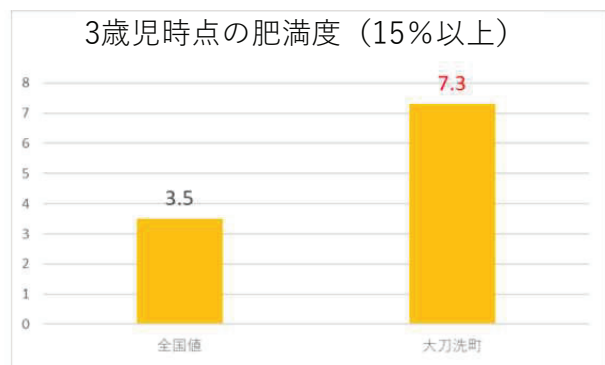
福岡県医師会 2026年9月28日

本日の内容

- 背 景
- 大刀洗町の5歳児健康診査【目的】、【概要】
- 5歳児健康診査スキーム
- 各ブースで実施すること
 - 【医師】、【保健師・看護師】、【保健師・管理栄養士】、
 - 【OT】、【CP】
- 健診後カンファレンス
- まとめ・課題

1 5歳児健康診査を実施する背景

実は、国からの5歳児健康診査勧めの前から課題感をもって取組をしていたことがある。



※平成27年度乳幼児栄養調査、平成27年度大洗町乳幼児健診データより

「大洗町のこどもって大きいよね…」
保健師の発言から調査をしていった。肥満度15%以上児は全国値の2倍であった。

※全国値との比較は当時直近の乳幼児栄養調査が平成27年度だったのでそこと比較した。

大洗町で実施している健診
【母子保健法】

- 4か月児健診
- 10か月児健診
- 1.6か月児健診
- 2.6か月児歯科健診
- 3歳児健診

希薄になる期間

こども課との会議では発達フォローは必要な子が増えているよ！！

就学児健康診査（6歳到達時）【学校保健法】

3歳児健康診査以降は町との関わりが希薄になる。ほとんどのおこさんは就園して、園での生活が中心になる。発達発育の確認ができない。何か関わりが持てないか。

5歳児健康診査として町のこども達と関わりを持ちたい！

2 5歳児健康診査を実施する背景-2

2024年度 長崎県佐々町へ視察

- 平成27年度から5歳児健康診査をスタート
- 受診率約90%
- 1.6か月児健診より反応がよい。今後の就学児への関心や不安が高くなる時期であり、受診率は高い。
- 長崎大学子どもの心の医療・教育センターセンター長 岩永教授やゼミの学生をはじめ、医師会による医師派遣（町立病院の医師、町内小児科医師）による協力体制あり
- フォロー体制の充実
- 療育機関のOTが健診にスタッフで参加。直接接することができる。
- 発達相談としても健診担当医師が継続して見れる体制がある。
- 保育園が町に来庁し、カンファに交代で入る。直接助言が聞ける。



佐々町ホームページより抜粋

3 大刀洗町の5歳児健康診査【目的】

- 小学校就学前の子どもの発達・健康状態の把握
- 発達課題を持つ児童の早期発見・早期支援
- 保護者への情報提供と安心した就学準備支援
- 保育園・幼稚園・こども課との連携体制強化

4 大刀洗町の5歳児健康診査【概要】

令和7年9月スタート 受診率96%で開始

全体概要

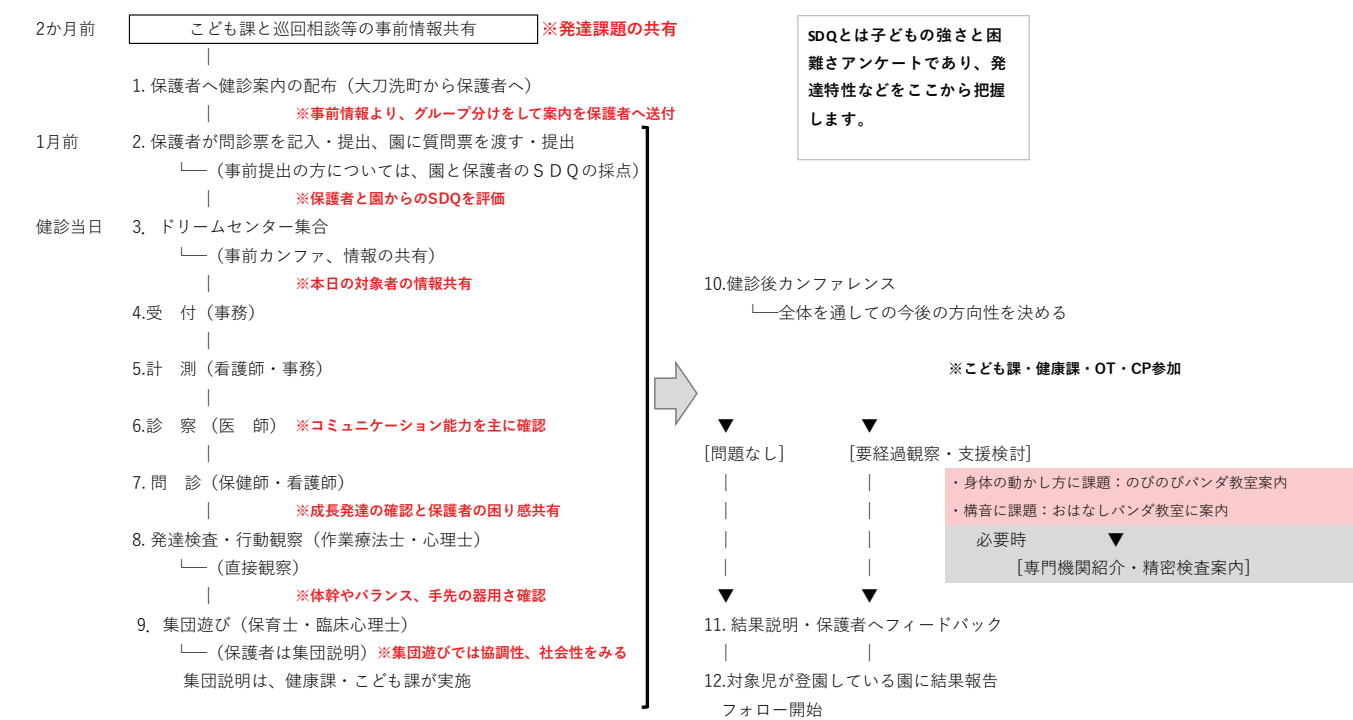
項目	内容
実施期間	令和8年9月～令和9年3月
回数	年4回（9/30・11/25・1/27・3/24）
対象	満4歳児（各回約45名、計約180名）
実施場所	・大刀洗ドリームセンター ・2階展示ホール
実施方法	親子別プログラムによる健診

実施体制

担当者	役割
医師（内科）1名	健康診査
臨床心理士（CP）3名	発達検査及び集団遊びの観察
作業療法士（OT）3名	感覚・運動面評価
保育士 2名	集団遊びの観察
保健師 4名	全体統括・個別問診・集団講話
管理栄養士 4名	集団で食育講話
事務 2名	身長体重測定お手伝いと誘導
看護師 4名	計測と測定記録、個別問診
こども課 1～2名	就学相談支援・学校連携

※医師は小郡三井医師会より大刀洗町内の内科医師に来ていただいています。
OTは作業療法士会に依頼し派遣、CP・NS・事務1名は個別に委託契約

※事業開始前年度末、大刀洗町部会長への相談、小郡三井医師会に了解を得た。
事業開始当初に、町内保育園園長会で事業説明、大刀洗町のお子様登園している園に個別説明を実施。



診察内容

3歳児健診などのような身体的な診察は5歳児健診では行っていません。

発達を見る健診のためそれを踏まえた問診を行っています。

大刀洗町での問診については現鳥取県立療育センター院長で小児神経学、発達障害を専門にされている小枝達也先生が提案している質問を採用しております。

問診の内容

本人とつきそいの母親が横にいる状態で

「保育園（または幼稚園）で出るカレーはおいしいですか？」

「お母さんが作るカレーはおいしいですか？」と前置きした上で

「お母さんのカレーと保育園のカレーはどちらがおいしいですか？」と聞きます。

お母さんが隣にいるという状況でこれを聞くことにより

「お母さんに気を使った行動を取れるか」というところを見ることで発達を見るということになっています。

実際の健診での答え

実際健診で聞いた場合には

「お母さんのカレー」「どっちもおいしい」

という答えが多かったです。

無言でお母さんの顔を見てお母さんに「正直に言いなさい」といわれた子もいました。

お父さんが付き添いの子は無言でお父さんの顔を見て「俺の顔を見るな、お母さんには何も言わんから」と言われていました。

こういう状況になれば判定も容易ですし問題もないのですが、この質疑応答について、いくつかの問題点が出たので説明します。

6-4 各ブースで実施すること【医師】

実際の健診での問題点

問題点を列挙します。

1. 「保育園」と即答したときの判断が難しいことがある

この場合周りに気が使えない発達に問題があるかということになりますが実際はそうではないこともあります。お母さんに「またお母さんをからかって」と言われて笑っている子供もいました。

2. カレーが嫌いな子がいる、お母さんがカレーを作らない子がいる

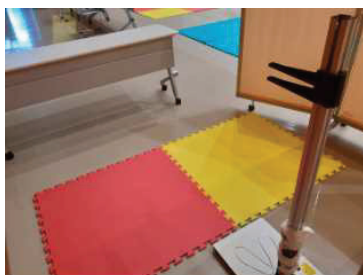
これらについてはカレーのところを料理に言い換えて対応していました

3. 父子家庭と児童施設のお子さん

これが一番問題だと思うのですが父子家庭もしくは児童施設のお子さんにとってこの質問は子供さんを傷つける可能性がある質問ですので、事前に把握して代替の質問を聞くようにする必要がありますと思いました。

7 各ブースで実施すること【保健師・看護師】

計測

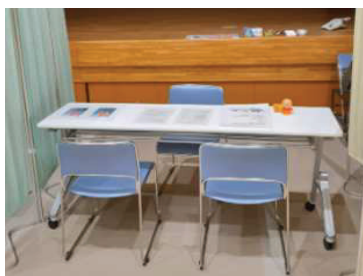


体重 () kg (10パーセンタイル値以下、90パーセンタイル値以上)
身長 () cm (10パーセンタイル値以下、90パーセンタイル値以上)
カウプ指数 () 肥満・正常・やせ
BMI ()

⇒事前の保護者アンケート、保育園からのアンケートを評価。
各スタッフで情報共有。

⇒問診や集団観察などを通じて、子どもの発達や健康状態を把握し、必要な支援につなげる。生活習慣や栄養面についても評価する。

問診 積木構成、指示の理解(各2回ずつ実施)



積み上げ 人形	16個の積み木を積み上げる ロケット	2:2種類できる 0:1種類もできない
積木構成	人形を積木で構成する (O・×) (O・×) (O・×)	
指示の理解 (各2回ずつ実施)	「積木を積の真ん中においてください」 「人形の前に積木を置いてください」 「私が手をたいたいたら積木を取って、その積木を積の真ん中においてください」 (3秒経ってから手をたたく)	2:1回目に正確に応じる 1:2回目まで可 0:不可

⇒育児の困難さや子育て相談のニーズを踏まえながら、関係機関と連携して、こどもとその家族に必要な支援につなげる。園と保護者のSDQを事前に点数化し、マイナスチェック項目や差分を確認していく。

⇒健診後のカンファレンス: 健診結果を協議し、支援内容を検討

8 各ブースで実施すること【保健師・管理栄養士】

集団指導



保護者



幼児

保護者と5歳児は別々のブースへ進む。

○保護者には幼児の発育発達の見方について講話

幼児の食事や間食について、乳幼児健診の各段階でお伝えしている3色食品群を共通事項としてお伝えしていく。

⇒こども課からは、就学に向けて保護者に伝えたいことなどお話しする。トータル約15分

○幼児は、集団遊びとして新聞紙遊びや紙芝居、的あてをする。

臨床心理士・保育士2名で対応する。

⇒集団においての児の様子、社会性の部分を見ていく。衝動性や協調性の傾向について、臨床心理士が把握する。

⇒健診後のカンファレンスで、集団の様子についても共有

9 各ブースで実施すること【OT】

閉眼



【検査項目】

8	動作模倣	両腕を横に上げる	正確に模倣する
9		両腕を上上げる	正確に模倣する
10		両腕を前に出す	正確に模倣する
11		閉眼起立	ステップを踏まない
12		片足立ち(右)【5秒以上】	5秒以上可能
13		片足立ち(左)【5秒以上】	5秒以上可能
14		片足ケンケン(右)【5秒以上】	5回以上可能
15		片足ケンケン(左)【5秒以上】	5回以上可能
16	協調運動	指のタッピング(右)【3秒以上】	鏡像運動が出ない
17		指のタッピング(左)【3秒以上】	鏡像運動が出ない
18		前腕の回内・回外(右)	回内回外になっている
19		前腕の回内・回外(左)	回内回外になっている
20		左右手の交互開閉 【3往復】	3往復以上交互に開閉できる
30	行動制御	「いいよ」って言うまで目をつむってください【20秒】	20秒以上持続可能
31		「いいよ」って言うまで目をつむってください【20秒】	自己刺激がない

⇒令和8年度よりOT3名体制で個別検査として実施

丁寧に動きを測定し、検査の様子は保護者に動画撮影の許可をもらって実施。カンファで共有。

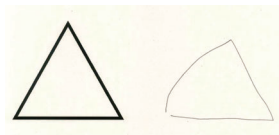
指のタッピング



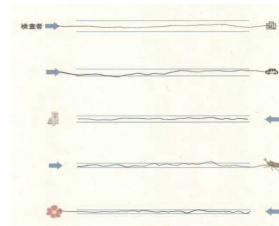
バランス



△描写



線引き



△の描写し	見本をみて△が描けるか	2: 三角が描ける 1: 角がきれいな三角になっていない 0: 描けない
線引き	利き手で線引き課題(はみ出し数)	点

10 各ブースで実施すること【CP】

人物画



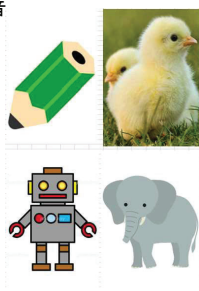
【検査項目】

21	くつって何するものかな？(用途①)	はくもの など
22	帽子って何するものかな？(用途②)	かぶるもの など
23	お箸って何するものかな？(用途③)	食べるもの など
24	本って何するものかな？(用途④)	読むもの、見るもの など
25	時計って何するものかな？(用途⑤)	時間を見るもの など
26	右手を上げてください(左右)	右手を上げる
27	左手を上げてください(左右)	左手を上げる
28	じゃんけんをする(3回)	3回とも勝ち負けが分かる
29	しりとりをする	正確に3往復できる

⇒個別検査に2人、集団観察に1人入ってもらっている。
人物画や構音、概念の理解について丁寧に聞いてもらっている。

⇒人物画についてはお母さんを書いてもらい、構音は絵カードを使ってCPの発音をまねて話すように伝えている。

構音



構音	えんぴつ	ふうせん	* 明らかな誤り=1個 わずかなゆがみ=1/2個 とカウントする 2:発音の間違いが1個以下 0:間違いが2個以上
	ひよこ	ごはん	
	ロボット	でんわ	
	ぞうさん	めがね	
	しゃぼんだま	チューリップ	

人物画	人物画を描く	* 目、耳、眉毛、手、足などは左右揃って1個。服、靴、帽子は各1個 2:からだのパーツが6個以上 0:からだのパーツが5個以下
-----	--------	---

11 健診後カンファレンス

- 先生方の診療時間もあるため、健診後カンファレンスは、OT・CP・PHN・保育士・管理栄養士・
- こども課で実施。
- 健診で実施した検査結果を一人ずつ共有していく。
- 今後の方向性を決めていく。教室案内等フォローが必要な児はつないでいく。
- 必要時に先生へ連絡し、紹介状が必要であれば健診結果とカンファの結果を共有する。

継続支援	① 専門相談(療育機関へ紹介)	
	② 療育相談・子育て相談・発達検査(CP)	
	③ 運動教室	
	④ 構音教室	
	⑤ 経過観察・園訪問等(保健師)	
	⑥ 就学相談(こども課)	
	⑦ その他	

12 まとめ・課題

- R8年度に運動のフォロー教室を開始。課題があるお子さまのフォロー率45%
その他半数は園フォローや電話連絡で再度のお誘いを実施している。就学前までに準備できることを精一杯実施していく。
- 継続支援として小学校との連携。
- 構音教室の展開について、丁寧なフォローと家庭での支援、継続支援として小学校との連携。
- 予算調整
- 健診時間が約1.5～2時間。時間短縮に向けて、時間指定枠数の検討、誘導の工夫等を行っていく。
- 5歳児健診スタッフが同じ目的をもって、こども達のために事業展開できるようにしていく。

— M E M O —

情報交換

— M E M O —

— M E M O —

本日は、「令和8年度5歳児健康診査にかかる研修会」にご出席いただき、誠にありがとうございました。

よろしければ、今後の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、アンケートにつきましては、下記の「医師・医療従事者用」または「行政関係者用」のいずれかのQRコードよりご回答ください。

(医師・医療従事者用)



(行政関係者用)

